

令和5年度 第2回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会

日 時 令和6年3月14日(木)

午前9時30分～正午

会 場 本庁舎1603会議室

次 第

1 開会

2 館長挨拶

3 議事

(1) 被災収蔵品の修復活動の状況について(報告)

(2) 令和5年度事業報告及び評価について

(3) 令和6年度事業計画(案)について(報告)

(4) その他

4 閉会

資料

- 資料1 被災収蔵品の修復について
- 資料2 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について
- 資料3 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告(今回報告・評価を行う事業)
- 資料4 令和6年度川崎市市民ミュージアム事業計画(案)
- 参考資料1 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告(第1回部会で報告・評価を行った事業)
- 参考資料2 川崎市文化芸術振興会議規則
- 参考資料3 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員名簿

○委員（敬称略：五十音順 令和5年12月5日現在）

いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	独立行政法人国立西洋美術館 国立アトリサーチセンター 主任研究員 新たなミュージアムに関する基本計画懇談会委員
なかむら わかな 中村 若菜	はなうた図工室 代表 一般社団法人日本臨床化粧療法士協会 理事
ひらい ひろのり 平井 宏典	和光大学経済経営学部 教授
ふじしま としえ 藤嶋 俊會	美術評論家連盟会員 元神奈川芸術文化財団学芸員 かわさき市美術展懇談会委員

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

定期的な報告として、令和5年12月31日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

(1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（7団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	学校法人東海大学
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装飾師連盟	

(2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

- ・委託事業者（指定管理者含む）16,742人
- ・川崎市職員 1,806人
- ・外部支援団体 4,260人
- 合計 22,808人

2 収蔵品のレスキュー状況（令和5年12月31日現在）（下線：前回からの更新箇所）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	<u>126</u>	<u>50</u>	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	45	<u>20</u>	<u>33</u>
考古	72,072	72,053	19	71,678	<u>68,602</u>	<u>39</u>	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	<u>2,287</u>	<u>542</u>	1,844
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	<u>272</u>	<u>128</u>	6,566
写真	33,113	32,932	181	21,395	<u>1,074</u>	<u>242</u>	11,015
漫画	74,503	74,503	0	73,679	1,370	<u>1,796</u>	52,003
映画	13,301	12,808	493	13,301	<u>2,035</u>	1	957
映像	28,131	27,238	893	2,413	0	0	1,129
合計	306,635	302,325	4,310	245,643	<u>75,811</u>	<u>2,818</u>	73,547

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和5年12月31日現在）

（★：前回からの更新箇所）

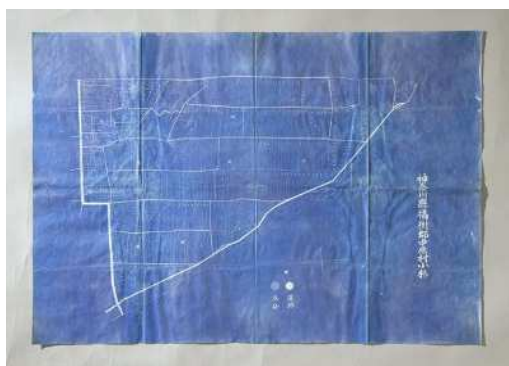
【指定文化財】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」 ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち「漁業権並ニ入漁権書類綴」など4件 ★市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」のうち10件 ★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち3件
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・市重要郷土資料[民俗]「獅子頭」1件 ・市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち450件 ・市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」2件 ・市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち59件

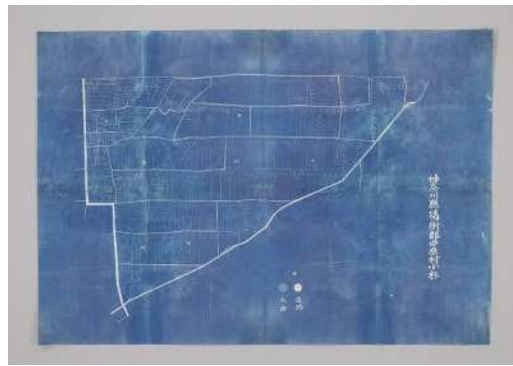
【歴史】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★絵図「神奈川県橘樹郡中原村小杉地籍図(青焼き図面) など」2件（写真1） ★紙資料「川崎宿問屋記録(問屋役務中之記録)など」19件
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★絵図「大嶋村・池上新田村境立会絵図など」23件 ★関札 6件 ★高札 14件 ★紙資料「宗門人別帳(久根崎町)など」6件
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ★紙資料（古文書、浮世絵、瓦版、絵図など）約2,300件 ・物資料（屏風、建築部材、電化製品など）約490件
応急処置中	★紙資料（古文書）約7,490件
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料（古文書）約30箱 ・紙資料（広報紙、新聞、絵図など）約230件

写真1 絵図「神奈川県橘樹郡中原村小杉地籍図(青焼き図面)」



修復前



修復後

【民俗】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・からくり人形 ・絵馬（「向いめ」など）10件 ・板戸4件 ★ゼニバコ
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料（掛軸など）約640件 ・物資料（民具など）約13,000件
応急処置中	★紙資料（御札、掛軸、日誌など）約100件
冷凍保管中	・紙資料（御札、掛軸、日誌など）約80箱

【考古】

現状	資料名等
修復済 （修復不要）	<ul style="list-style-type: none"> ★井田伊勢宮前横穴墓群（須恵器）（写真2） ★市内採集（井田伊勢宮前横穴墓群、鷺沼遺跡、子母口貝塚、黒川地区遺跡群など）の土器、土器片、瓦片、石器など21,747件
修復中	★「浄元寺裏横穴墓群出土銅椀」など26件
応急処置済	★洗浄乾燥済（5,000箱）

写真2 井田伊勢宮前横穴墓群（須恵器）



被災前

修復後（修復不要）

修復後（修復不要）

【美術文芸】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★大矢紀「須弥山図」（写真3） ★まどみちお 絵日記 120点（写真4） ★斎藤寿一（「青い点」など）4点（写真5）
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦（「神農」など）2点 ・まど・みちお 絵日記 496点 ★渡辺豊重（「桜蘭」など）10点 ★斎藤寿一（「失題」など）24点 ・田中岑（「森の径」など）2点 ・樋口正一郎「光で色すくう90」 ・斎藤茂（「奏でる」など）2点 ★大矢紀「竜飛岬」 ★書籍（岡本かの子「かろきねたみ」など）4点

応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・安田靉彦本画 1点 ・大矢紀 19点 ・石渡風古画稿 約1,000点 ・結城天童作品、関連資料 約20点 ・佐藤惣之助、岡本かの子 約30点 <p>★市内作家 (渡辺豊重 50点、田中岑 116点、斎藤寿一 72点、ほか現代作家 34点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連作品、資料 (浮世絵・明治期版画 約800点)
応急処置中	★書籍、まど・みちお関連資料など4箱
冷凍保管中	・書籍、まど・みちお関連資料など11箱

写真3 大矢紀 「須弥山図」



被災前

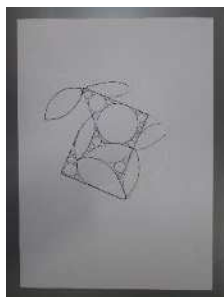


修復前

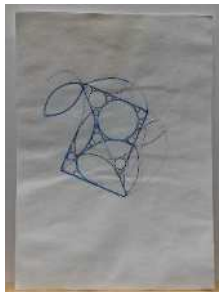


修復後

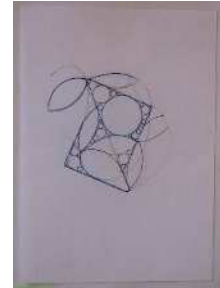
写真4 まどみちお 絵日記



被災前



修復前



修復後

写真5 斎藤寿一 「青い点」



被災前



修復前



修復後

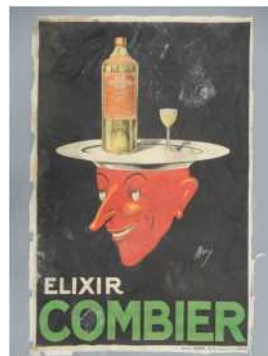
【グラフィック】

現状	資料名等
修復済	★アール・デコ ポスター（モリー「エリキシル（薬用酒）コンビエ」など） 39点（写真6）
修復中	・アール・ヌーヴォー ポスター（A・トランキエ＝トリアノン「ロワイヤ」など） 30点 ★アール・デコ ポスター（サネ「食前酒 ハイソサエティ（上流社会）」など） 60点 ・プロパガンダポスター（Z・K「児童愛護週間」など） 29点 ・外国ポスター（スティック「コミオの自転車部品」など） 9点
応急処置済	・アール・ヌーヴォー ポスター 14点 ・アール・デコ ポスター 180点 ・現代版画 401点 ・プロパガンダポスター 235点 ・日本の現代ポスターなど 1,596点 ・オリンピックポスター、外国ポスターなど 811点 ・マガジンカバー 681点
冷凍保管中	・外国ポスターなど 5箱

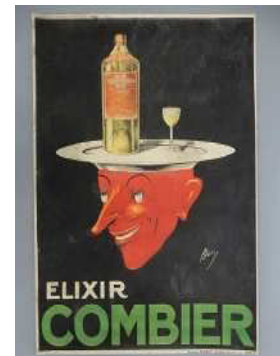
写真6 モリー「エリキシル（薬用酒）コンビエ」



被災前



修復前



修復後

【写真】

現状	資料名等
修復済	★19世紀写真（W.Hジャクソン「ロス・ピノス溪谷」など）13点（写真7） ★20世紀写真（存命作家）（松江泰治「KAWASAKI JAPAN 1994 #6」など）34点 ★木村伊兵衛写真賞受賞作品 46点
修復中	・19世紀写真（「横浜アルバム」など）179点 ・グラフ雑誌（「ソ連邦建設」）11点 ★20世紀写真（存命作家）（柴田敏雄「福島県南会津郡下郷町（日本典型）」など）50点 ★木村伊兵衛写真賞受賞作品 2点
応急処置済	・19世紀写真 61点 ・20世紀写真 63点

	<ul style="list-style-type: none"> ・木村伊兵衛写真賞受賞作品 188 点 ・グラフ雑誌、写真帖 39 点 ・カメラ機材 10 件
応急処置中	★写真帖、雑誌、書籍など 80 箱
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・19 世紀写真、20 世紀写真など 2 箱 ・写真帖、雑誌、書籍など 2 箱

写真7 W.Hジャクソン「ロス・ピノス溪谷」



被災前

修復前

修復後

【漫 画】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画原画（岡本一平「風刺画」など）1,200 点 ★油彩画（森熊猛「貴賓席」） ★漫画雑誌（チャールズ・ワグマン「ジャパンパンチ 1882 年 5 月号」など）15 点 ★漫画原画（装幀原画「笛を吹く人」など）580 点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ★漫画原画 2,000 点 ・油彩画など 67 点 ★漫画雑誌など 3,149 点
応急処置中	・垂鉛版 1 件
冷凍保管中	・原画、漫画雑誌、書籍など 208 箱

【映 画】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★久保一雄スケッチ 499 点（写真 8） ★永富映次郎「滾々として尽きず 高橋圭三版」 ★君塚匠「喪の仕事」
修復中	・6 mm 音声資料 1 点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・今井正「どっこい生きてる」など 982 点 ・井手雅人関連資料 493 点 ・久保一雄関連資料 3,856 点 ・神代辰巳関連資料 89 点 ・小川プロ関連資料 2,036 点 ・独立プロ映画関連資料（ポスター） 33 点
冷凍保管中	・映画監督、脚本関連資料など 24 箱

写真8 久保一雄スケッチ



被災前



修復前



修復後

【映像】

現状	資料名等
応急処置済	・日本映像カルチャーセンター関連作品など 277 点
応急処置中	★実相寺昭雄関連脚本 1 箱
冷凍保管中	・映像資料など 11 箱

【借用】

現状	資料名等
修復済	★犬塚勉展作品（油彩画） 1 点
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 2 点

令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について

1 趣旨

川崎市市民ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の活動のさらなる充実を図るため、川崎市文化芸術振興会議の部会である市民ミュージアム部会において、令和5年度のミュージアム事業全般に対する評価を実施する。

2 評価の目的

- (1) ミュージアムの事業全般に対して、外部の学識経験者に客観的かつ多様な視点からの評価を受けることで、ミュージアムの課題を明確化し、運営のさらなる充実につなげる。
- (2) 評価を継続実施することで、中長期的なミュージアム運営の改善につなげていく。
- (3) ミュージアムの事業内容・評価を公表することにより、運営の透明性を高め、ミュージアム事業に対する市民の理解を得る。

3 評価者

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員

4 評価方法

令和5年度の実施事業(項目)について、次の(1)及び(2)の評価を実施する。

- (1) ミュージアムによる内部評価(自己点検)として、実施状況・成果等、課題・反省等
- (2) 市民ミュージアム部会委員による外部評価として、意見(評価できる点や課題等)及び評定

※評定 A:十分に達成
B:概ね達成
C:達成に至らず

令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告

(今回報告・評価を行う事業 3月14日現在)

<目次>

1 展覧会・上映会

展覧会③ 川崎宿 —1623～2023—	… 2
展覧会④ オンライン展覧会「新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域—」	… 4
展覧会⑤ オンライン展覧会「大島康幸展」	… 6
展覧会⑥ オンライン展覧会「折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が 生まれた。1946-2024」	… 8
展覧会⑦ 第57回かわさき市美術展	…10
展覧会⑧ 川崎市市民ミュージアム—誕生と軌跡—	…13
展覧会⑨ アニメ あらかると！ 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの 世界	…15

2 教育普及

教育普及② 市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）	…17
教育普及③ A r t r i p（アートリップ）	…19
教育普及④ 柿めぐる道 —みんなで伝える！昔ばなしと寺社めぐり—	…21
教育普及⑤ 社会科教育推進事業	…23
教育普及⑥ スクールプログラム	…25
教育普及⑦ （仮）インクルーシブ出張ワークショップ （今後実施予定のため評価対象外）	…26

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 …27

4 広報に関する業務 …27

5 収蔵品の外部利用に関する業務 …28

6 ミュージアムショップの運営に関する業務 …28

7 令和5年度 市民ミュージアム事業費 予算 …29

1 展覧会・上映会

【展覧会③】

事業名	川崎宿 —1623～2023—
会期	令和5年10月1日（日）～11月26日（日）
会場	東海道かわさき宿交流館
コンセプト	<p>令和5（2023）年は、川崎宿起立400周年にあたります。江戸時代の川崎宿は東海道の主要な宿場の一つであり、現在の川崎市の基礎となっていますが、史料が少ないこともあり、未解明の部分も多く残されています。</p> <p>本展では、川崎市市民ミュージアムの常設展で展示されてきた史料に加えて、これまで紹介されてこなかった史料も交えて、可能な限り川崎宿の実態に迫ることを目指します。中でも、徳川家茂の上洛や明治天皇の東幸など、幕末から明治維新にかけ川崎宿が終焉を迎える時代について、焦点を当てる企画展です。</p>
内容	<p>【当館収蔵品】</p> <p>「下乗札」（初公開史料／明治元年10月の明治天皇東幸の際に本陣の前に掲げられた木札）</p> <p>「川崎年代記録 上」、「川崎宿宿並書上帳」、「渡船賃高札」、「浪花講看板」、「主上御東幸之節玉川舟はしの図」等</p> <p>など約50点</p>
関連事業	<p>【当館主催】</p> <p>①オンライン史跡めぐり「川崎宿 その跡をめぐる」（9月25日（月）～3月29日（金））</p> <p>②講演「江戸時代の旅と食」（11月4日（土））参加40名</p> <p>【川崎市公文書館主催】</p> <p>③古文書講座「大名の川崎宿止宿と関札」（10月22日（日）、10月29日（日）、11月5日（日））</p> <p>※菊地学芸員を講師派遣</p>
その他	<p>共催：東海道かわさき宿交流館</p> <p>関連グッズとして、図録「川崎宿」及び「川崎宿往還絵図」複製ポスターを作成し、当館オンラインショップで販売しているほか、東海道かわさき宿交流館の指定管理者に図録等の販売収納事務を委託し（令和5年10月～12月）、同館売店でも販売を行いました。</p>



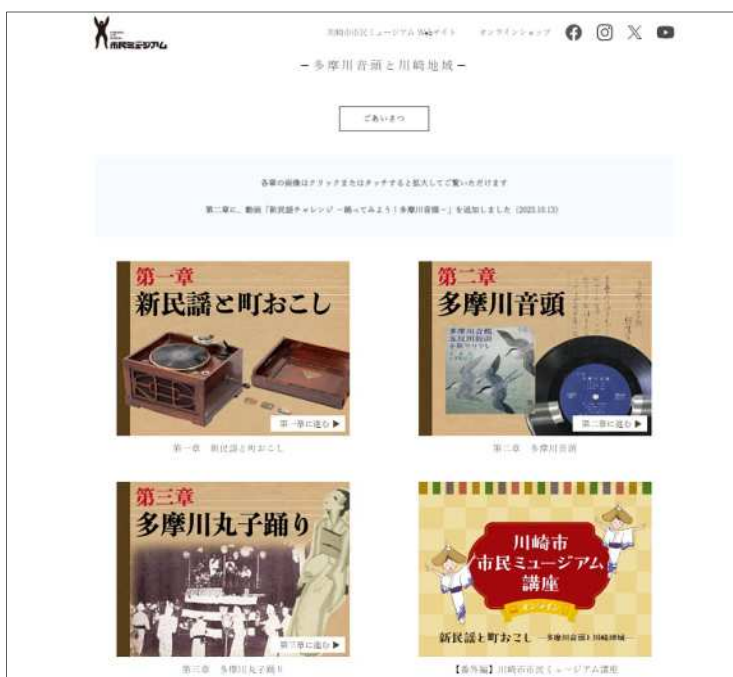
自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 4, 246人</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎宿に関する近年の研究状況を整理し、収蔵資料を活用した展示を行うことができました。 川崎宿起立400周年関連の様々なイベントや広報による相乗効果もあり、多くの方にご来場いただきました。街道歩きの途中に立ち寄られた方もいらっしゃいました。 会場の特性を活かし、川崎宿の基本情報については、東海道かわさき宿交流館の常設展示で知っていただき、この企画展では幕末・明治維新期の動きを中心に特集展示をする役割分担ができました。また、同館の売店で企画展関連書籍や絵図ポスターの委託販売を行いました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者からは、展示資料のキャプションの文字が小さい、古文書のポイントとなる部分の読み下しや現代語訳のキャプションもあった方が、より理解しやすい等の指摘をいただきました。 年少者向けの企画・仕掛けが弱い面がありました。 川崎宿の実像にはまだ未解明の部分も多く、今後も関連する被災資料の修復を進めつつ研究を重ね、その成果の公開に結び付けていきたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> 目標の1, 400人を大きく上回る来場者があったことは評価できる。 オンライン動画の内容も非常に面白かった。 川崎市民はよく知っていることでも、市外の人にとっては新鮮な部分が多かったのだろうと思う。 来場者アンケートで様々な意見をいただけたのは良かったと思う。今後さらに多くの声を聴けるよう、QRコード形式のアンケートを活用することも有効ではないか。 	



【展覧会④】

事業名	オンライン展覧会「新民謡と町おこしー多摩川音頭と川崎地域ー」
会期	令和5年7月28日（金）～令和6年3月29日（金）
会場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C”ー3つめのミュージアムー」にて公開） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	大正末期から昭和初期の時代に、全国各地で「新民謡」と呼ばれる一種のご当地ソング（盆踊り）が盛んに作られた背景を探るとともに、北原白秋作詞による多摩川音頭をはじめとする、川崎の新民謡の歴史を発掘します。
内容	「多摩川音頭」を北原白秋が作詞した際の自筆原稿（初公開）を中心に、川崎市域の新民謡に関する資料画像約30点を解説テキストとともに展示する企画です。 また、「多摩川音頭」の歌詞・メロディーや現在どのように伝承されているのかを知ってもらうため、市民ミュージアムの学芸・広報スタッフが指導を受け、実際に踊ってみた動画「新民謡チャレンジー踊ってみよう！多摩川音頭ー」を制作・公開しております。
関連事業	ミュージアム講座「新民謡と町おこしー多摩川音頭と川崎地域ー」は、本展の内容と連動した講座です。
その他	



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【ページビュー数】（3月8日現在） 2, 185回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に新たに収集した「多摩川音頭」の北原白秋の自筆原稿を初公開するとともに、市内の様々な地域で新民謡を作り郷土をアピールしようという住民の動きがあったことを明らかにすることができました。 ・動画「新民謡チャレンジー踊ってみよう！多摩川音頭ー」は、多摩川音頭の踊り方を多くの市民、さらに後世に伝えていくうえでも貴重な資料になり得ると考えております。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの多摩川音頭がどのような曲なのか、オンライン展覧会の中で聴いていただきたいところでありましたが、利用可能な音源の発見に至りませんでした。 ・多摩川音頭以外の川崎市内の新民謡については、詳細の不明な点が多く、戦後から現在に至る市民生活とのつながりも含め、今後も研究すべき課題が残されています。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・横浜にも関東大震災の後に原三溪が作詞を手掛けた「濱自慢（復興小唄）」という曲があるが、本展を見ることで、当時の世相的な背景を理解することができた。川崎だけでなく、他地域の人にとっても有益な企画だと感じた。 ・まだこの先の発展が見込める企画だと考えている。 ・今後、ページビュー数だけでなく、関連動画の再生数等も含め、評価・分析を進めて欲しい。 	



【展覧会⑤】

事業名	オンライン展覧会「大島康幸展」
会期	令和5年10月5日（木）～令和6年3月29日（金）
会場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	川崎市麻生区在住の大島康幸氏は、動物の表皮を木彫りで表現した「FAKE FUR」シリーズに代表される彫刻家です。2003年から発表されているこれらの作品は、モチーフとなった動物の頭部や手足は非常にリアルに彫り上げられていますが、胴体にあるはずの骨や肉はなく、表皮の襞（ひだ）やたるみが表現されているのが特色です。 本展は市内在住作家である大島氏の作品を紹介することとともに、等々力緑地時代の市民ミュージアムでは最後となる展示室での作品展示及び撮影を行うことで、旧施設での展示風景を記録・公開することもねらいとしています。
内容	大島氏が近年手掛ける「FAKE FUR」シリーズをはじめ、2005年に発表した「時間(とき)の衣」、2021年発表の「始まり」の3つシリーズ計36点の作品を紹介します。 また今回の撮影のために、移転前の市民ミュージアム(中原区)の展示室に作品を展示した模様や、作家のインタビュー動画も公開しています。
関連事業	ワークショップ「ねんどでふえいくふぁー」（11月11日） 参加8組24名（保護者含む。うち14名が作品制作）
その他	図録「大島康幸展 YASUYUKI OSHIMA」を作成し、当館オンラインショップで販売しています。



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【ページビュー数】（3月8日現在） 3, 264回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転前の市民ミュージアム（等々力緑地）の展示室でオンライン展用の撮影を行ったことにより、上質な作品写真を撮影できたほか、同施設での展示風景そのものの記録を残すこともできました。 ・大島氏の在住地でもある麻生区で関連ワークショップを開催し、多くの人にのびやかで色とりどりの造形を楽しんでもらうと共に、令和5年10月に市民ミュージアムの事務所が麻生区に移転したことをお知らせする機会とすることができました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に市内在住作家を知ってもらえたという点でオンライン形式での展示としたことは有益であった一方、彫刻作品の魅力を映像から感じ取ってもらうことの難しさも感じました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・チラシが魅力的で、作家を知らなかった人にも訴求力があつた。 ・作家のインタビュー動画が充実していた。アーカイブ化して、館が持つ文化資源を蓄積して欲しい。 ・オンライン展覧会としながらも、むしろ対面形式のワークショップが盛り上がった感もある。 	



【展覧会⑥】

事業名	オンライン展覧会「折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024」
会期	令和6年3月1日（金）～令和6年3月29日（金）
会場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	川崎生まれのパフォーマー・折元立身氏は、パフォーマンス・アーティストとして、ヴェネチア・ビエンナーレを始め現代美術の前線で、国際的な活動を繰り広げてきました。その作品は、ひとを驚かせるユニークな発想に満ちています。 これまでに当館が取り上げてきた展覧会等を振り返るとともに、最近の活動について紹介します。
内容	・平成28（2016）年の企画展「折元立身：生きるアート」の振り返りを中心とした、長年かつ多岐にわたるパフォーマンスの紹介 ・新作のパフォーマンス「ラーメンをかぶる」及び折元氏の最新インタビュー
関連事業	
その他	

川崎市市民ミュージアム Webサイト オンラインショップ

折元立身
生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024
Tatsumi Orimoto An interesting work was born! It makes you feel a sense of life.
1946-2024

ごあいさつ
企画/協力
展覧会へ進む

作家プロフィール

オンライン展覧会
Online Exhibition

自己評価
<実施状況・成果>
<p>【ページビュー数】（3月8日現在） 844回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折元氏の生い立ちから過去の作品、そして最新作と時系列を追った構成は、長年にわたり折元氏との関係性を築き、企画展や館内でのパフォーマンスを重ねてきた当館ならではの内容であったと考えます。 ・長年にわたり活動している折元氏関連の企画であることから、美術専門メディアでも紹介されたほか、同時期に東京都内で折元氏の作品が展覧された展覧会が開催されたこととの相乗効果も見られました。
<課題・反省等>
<ul style="list-style-type: none"> ・3月1日公開のスケジュールとなったため、1か月弱の会期となりました。 ・新作パフォーマンスの動画では、協力をいただくエキストラの方にあらかじめ撮影内容を理解していただき、コンセンサスを得ることの難しさがありました。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	B
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・折元氏はSNSで話題になることもしばしばある作家である。広報を充実させるために、ハッシュタグ等の情報拡散に資する機能を研究・活用して欲しい。 ・実会場と違ってオンライン展覧会は会期を制約する要素が少ないだけに、1か月で終わってしまうのは残念な面がある。今後は、年度をまたぐ形での企画も検討して欲しい。 	



【展覧会⑦】

事業名	第57回かわさき市美術展																													
会期	<p>入選作品 令和6年1月11日(木)～1月18日(木)</p> <p>入賞作品 令和6年1月20日(土)～1月27日(土)</p> <p>表彰式 令和6年1月27日(土)</p>																													
会場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室																													
コンセプト	<p>かわさき市美術展(以下、市美展という。)は、昭和42年(1967)から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。本展では、川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示することにより、市民が文化芸術活動に主体的に参加し、また鑑賞する機会を広く提供します。</p>																													
内容	<p>【部門】</p> <p>①平面部門②彫刻・立体造形③工芸④写真⑤書⑥中高生 の6部門</p> <p>【応募料】</p> <p>一般：1点 2,500円、2点 4,000円</p> <p>※パラアーティストを支援する取組として、今回から、搬入受付時に確認書類(身体障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等)の提示があった応募者については、応募料を減額しております。(1点1,300円、2点2,000円)</p> <p>なお、審査については全応募作品同じ条件のもとで行い、展示の際も障害の有無についての記載等はしないこととします。</p> <p>中高生：無料</p> <p>【表彰】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>賞</th> <th>人数</th> <th>授与品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>最優秀賞</td> <td>6部門を通じて1名</td> <td>賞状、賞賜金30万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般</td> <td>優秀賞</td> <td>5部門を通じて4名</td> <td>賞状、賞賜金10万円</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>5部門を通じて8名</td> <td>賞状、賞賜金1万円</td> </tr> <tr> <td>審査員特別賞</td> <td>5部門を通じて若干名</td> <td>賞状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中高生</td> <td>コミュゼ川崎大賞</td> <td>1名</td> <td>賞状、副賞(図書カード)</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>5名</td> <td>賞状、副賞(図書カード)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市民賞</td> <td>入選作品から来場者投票により決定</td> <td>賞状</td> </tr> </tbody> </table>	対象	賞	人数	授与品		最優秀賞	6部門を通じて1名	賞状、賞賜金30万円	一般	優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円	奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円	審査員特別賞	5部門を通じて若干名	賞状	中高生	コミュゼ川崎大賞	1名	賞状、副賞(図書カード)	優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)		市民賞	入選作品から来場者投票により決定	賞状
対象	賞	人数	授与品																											
	最優秀賞	6部門を通じて1名	賞状、賞賜金30万円																											
一般	優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円																											
	奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円																											
	審査員特別賞	5部門を通じて若干名	賞状																											
中高生	コミュゼ川崎大賞	1名	賞状、副賞(図書カード)																											
	優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)																											
	市民賞	入選作品から来場者投票により決定	賞状																											

	参考 近年の応募・入選入賞作品数																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募者数</th> <th>応募作品数</th> <th>入選入賞者数</th> <th>入選入賞作品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第54回 (R2)</td> <td>283</td> <td>373</td> <td>110</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>第55回 (R3)</td> <td>245</td> <td>315</td> <td>111</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>第56回 (R4)</td> <td>273</td> <td>351</td> <td>120</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>第57回 (R5)</td> <td>273</td> <td>367</td> <td>122</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table>		応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数	第54回 (R2)	283	373	110	113	第55回 (R3)	245	315	111	113	第56回 (R4)	273	351	120	123	第57回 (R5)	273	367	122	124
	応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数																						
第54回 (R2)	283	373	110	113																						
第55回 (R3)	245	315	111	113																						
第56回 (R4)	273	351	120	123																						
第57回 (R5)	273	367	122	124																						
関連事業	<p>オンラインセミナー（視聴無料） 「工芸のはなし 日常の発見 一つくる・みる・つかうー」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/28116/</p> <p>【講師】三上 亮氏（陶芸作家・東京藝術大学美術学部教授） 【配信期間】 令和5年9月29日（金）～令和6年3月29日（金）</p>																									
その他	<p>かわさき市美術展懇談会を設置し、学識経験者から本市の文化振興上、より効果的な美術展とするための取組や、展示及び会場運営に関する意見を聴取しています。</p> <p>協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合 後援：川崎市教育委員会、かわさきFM（79.1MHz）</p>																									



自己評価
<実施状況・成果>
<p>【応募数】 273人、367点（再掲）</p> <p>【来場者数】 1,674人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の前よりも応募が増えている傾向を維持し、応募者数は令和4年度と同数、作品数は16点増となりました。 ・パラアーティストを支援する取組として今回から導入した応募料の減額制度を、27人の方が利用されました。 ・選外作品の返却を早めてほしいという応募者の要望に応え、12月中に選外作品返却日を今回初めて設定しました。
<課題・反省等>
<ul style="list-style-type: none"> ・入賞作品と入選作品を一度に見たいという御意見をいただいておりますが、市内で十分な広さと利用可能期間を兼ね備えた施設が見当たらないため、作品展の開催形態等は今後の検討課題です。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	B
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に会場を見て、作品展示の雰囲気等がよいと感じた。 ・入賞作品と入選作品を一度に見てもらおう方策として、例えば3部門ごと会期を区切り、その部門の入賞・入選作品が一堂に会するという手法も考えられるのではないか。 ・SNSで連日作品を紹介する等、話題を発信して会場に足を運んでもらう仕掛けができるのではないか。 ・川崎市の人口を考えると、さらに多くの作品応募があってもよいと思う。 	



【展覧会⑧】

事業名	川崎市市民ミュージアムー誕生と軌跡ー
会 期	令和6年2月18日(土)～3月5日(火)
会 場	川崎市教育文化会館
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムは、昭和63(1988)年に博物館・美術館の融合施設として開館した川崎市市民ミュージアムは、従来美術館が扱ってこなかった写真・漫画・映画といった複製芸術を収蔵するなど、先駆的な取り組みを展開してきました。</p> <p>市民ミュージアムが誕生するまでの前史、建築物としての館の特色、そして35年間の様々な企画展等を回顧します。</p> <p>教育文化会館での資料展示を中心に、関連企画としてオンライン配信、講演会、ワークショップなどを幅広く展開し、多くの市民にミュージアムのこれからについて考えるきっかけにさせていただくことを狙いとします。</p>
内 容	<p>主な展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市市民ミュージアム建築当時の図面等 ・令和5年度に撮影した移転前の市民ミュージアム建物の3Dデータをもととしたデジタル展示 ・これまでに開催してきた企画展に関する資料など約120点を展示。
関連事業	<p>①おうちでミュージアム！川崎市市民ミュージアム web ツアー (令和6年2月～3月配信)</p> <p>②講演会「川崎市市民ミュージアムの建築(仮)」 (令和6年2月23日(金・祝)) 参加32名</p> <p>③アニメーション EMAKI マシーン KAWASAKI (令和6年2月10日(土)) 参加16名</p>
その他	



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 577人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージアムの歴史を振り返るだけでなく、会場施設の川崎市教育文化会館の前身である川崎産業文化会館の歴史を発掘する展示構成となりました。 ・被災前の常設展示で人気があった河童像やトーマス転炉の模型等を見ていただくとともに、市民ミュージアムの思い出を付せんで貼ってもらうコーナーは、市民のミュージアムへの思いを館としても改めて知ることができました。 ・展示や動画上映を熱心に御覧になり、30分から1時間程度滞在する来場者の姿が多く見られました。 ・関連企画の「アニメーション EMAKI マシーン KAWASAKI」は、商業施設の一角を会場としてお借りし、新たな開催形態のモデル事業とすることができました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築という専門性の高いテーマであったことと、川崎駅から徒歩で15分ほどかかる会場であったことから、いわゆるライト層の足が向きにくい展覧会となった面があります。 ・今回制作した学芸員のインタビュー動画や3D画像は、アーカイブ化して今後も活用することを検討しております。 ・会場施設で来館者のお話を聴いた実感として、市民ミュージアムへの馴染みが薄い方が多く、今後の地域での取組が非常に重要であると感じました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・旧産業文化会館は、かわさき市美術展の会場だった時代もあり、懐かしい。 ・市民ミュージアムがつくられた当時の熱気が伝わる企画だった。オンラインツアーも3本それぞれの切り口が違い面白かった。 ・展覧会用に動画等を制作した後、アーカイブとして活用していくことにも注力して欲しい。 ・建築に関心がある人も少なくないはずだが、菊竹清訓氏の通史的な企画ではなく市民ミュージアムという一作品に注目する展覧会なので訴求しきれなかったのかもしれない。 	



【展覧会⑨】

事業名	アニメ あらかると! 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの世界
会期	令和6年3月2日(土)
会場	中原市民館 ホール
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムの開館間もない平成元年(1989)に、アニメーション作家たちと市民が「アニメ あ・ら・かると」という短編映像を製作しました。同作品のほか、サイレントの時代のアニメーション映画を伴奏者・活弁士付きで見ていただく、ファミリー層や映画ファンをターゲットとした上映会を開催します。</p> <p>上映の合間には、アニメーションやフィルム映画について映像装置を使った実演や解説を行うとともに、上映後は装置やフィルムに触ってみることができる体験コーナーも設け、デジタル化が進む前の時代の映画の仕組みへの関心を高めてもらう構成とします。</p>
内容	<p>【上映作品】</p> <p><当館所蔵作品></p> <p>「エミール・コール短編映画集」(1908年~1912年/監督:エミール・コール/16ミリ/白黒12分)</p> <p>「アニメ あ・ら・かると」(1989年/監督:西倉喜代治/35ミリ/カラー10分)</p> <p><借用作品></p> <p>「正チャンの冒険」(1925年頃/監督:不明/16ミリ/白黒7分/16fps) 神戸映画資料館蔵</p> <p>「心の力」(1931年/監督:大藤信郎/35ミリ/白黒18分/16fps) 国立映画アーカイブ蔵</p> <p>「茶目子の一日」[パテートキー版][デジタル復元版](1931年/監督:西倉喜代治/35ミリ/白黒7分) 国立映画アーカイブ蔵</p> <p>【出演者】</p> <p>ピアノ伴奏:柳下 美恵氏</p> <p>活動弁士:尾田 直彪氏</p> <p>【その他】</p> <p>上映終了後、「初期映像装置 体験コーナー」としてプラクシノスコープ(回転のぞき絵)、幻灯機、映写機、フィルム等、昔の映像装置を見て、触れることができる企画を行った。</p>
関連事業	
その他	<p>協力:国立映画アーカイブ、神戸映画資料館 技術協力:有限会社鈴木映画 広報協力:「映像のまち・かわさき」推進フォーラム</p>

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 232人（一般128人、小中高生55人、無料49人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで、近隣の方だけでなく市外の方も含め、幅広い層の方に来ていただくことができました。 ・「正チャンの冒険」をはじめ、上映機会が少ない貴重な作品を鑑賞いただけたことや、活動弁士・ピアノ伴奏についても好評をいただきました。 ・上映後に実施した昔の「初期映像装置 体験コーナー」についても、多くの方が会場に残りご参加いただきました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期映像装置をその場で体験してもらうだけでなく、思い出や知識を持ち帰ってもらうワークシートを作成する等、さらに良いイベントにする余地があると考えております。 ・今回の上映会に向けた調整で「アニメ あ・ら・かると」を制作した1989年当時の関係者とのつながりが生まれたため、今後何か企画ができないかも検討してまいります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・企画内容に様々な工夫がみられ、来場者も熱心に参加してくれて、よい上映会になったと考える。 ・ベビーカー鑑賞ができるエリアを設けるなど、アクセスへの配慮がなされていた点も評価できる。 	



(2) 教育普及事業

【教育普及②】

事業名	市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）
会 期	令和5年7月～令和6年3月の期間に4講座 （各講座の配信期間は、配信開始～令和6年3月29日）
会 場	オンライン配信
コンセプト	市民ミュージアムの収蔵品や研究成果を発信していくため、学芸員が専門分野について分かりやすく解説する講座を動画配信します。 幅広い分野の専門的な知識を提供することにより、当館がオンライン上で社会に貢献する場としていきます。
内 容	<オンラインセミナートップページ> https://www.kawasaki-museum.jp/event/28181/ 【歴史分野】 「新民謡と町おこし ー多摩川音頭と川崎地域ー」（講師：鈴木勇一郎学芸員）※7月21日から配信中。同タイトルのオンライン展覧会との連動企画 【歴史分野】 「川崎宿事件簿2 川崎宿で盗難発生か!？」（講師：菊地悠介学芸員）※9月15日から配信中。企画展「川崎宿ー1623～2023ー」との連動企画 【漫画分野】 「昔の漫画(とアニメ)に詳しくなろう!日本初のアニメーションを作った男たち編」（講師：新美琢真学芸員）※10月6日から配信中 【美術文芸分野】 「佐藤惣之助と詩」（講師：佐藤美子学芸員）※12月1日から配信中
関連事業	
その他	アクセシビリティ向上のため、講義の内容について手話と字幕をつける取組を初めて実施しております。 また、大正時代に日本初の日刊連載の新聞四コマ漫画として人気を博した「正チャンの冒険」が今年誕生100周年を迎えたこと及び関東大震災から100周年を迎えたことにあわせ、令和3・4年度に配信した2講座を期間限定で再配信しました。 ・昔の漫画に詳しくなろう!「正チャンの冒険」編 ・昔の漫画に詳しくなろう!「漫画の歴史は関東大震災が変えた!？」編

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【再生数】（3月8日現在）※それぞれ手話付きバージョンとの合計 ①歴史分野（新民謡）：706回 ②歴史分野（古文書）：673回 ③漫画分野：733回 ④文芸分野：10,349回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史分野（新民謡）で試行的に手話付きの動画を制作・公開したところ、聴覚障害の当事者の方から、他の講座も手話を付けてほしいとの御要望をいただいたことから、残り3本についても、後日手話付きの動画を追加制作し公開しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者の追加手配や撮影編集に日数を要したことが反省点であり、今後オンラインでミュージアム講座を行う際は、最初から手話通訳の手配を行うとともに、手話ワイプや字幕を入れることを前提とした画面構成としてまいります。 ・市民ミュージアムの被災及びコロナ禍の影響により、令和3年度以降オンライン形式で講座を実施しておりますが、受講者とのリアルタイム感や双方向性も大切なため、次年度は対面方式の講座を再開することを検討しております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳を付ける負担は少ないと思うが、今年4月から事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化され、2025年には東京でデフリンピックが開催されることもあり、今回市民ミュージアムが手話を取り入れた意義は大きいと感じる。 ・最近では動画サイトの字幕自動生成や字幕を任意に修正する機能も進歩しているので、全てを内製化せず外部の機能も活用することで編集作業の負担を軽減する余地がないか検討に値すると思う。 	



【教育普及③】

事業名	Artrip (アートリップ)
会期	令和6年2月15日(木)、3月5日(火) ※それぞれ参加者を募集し、2回実施
会場	CAFÉ&SPACE L.D.K. (麻生区栗平2丁目)
コンセプト	当館の収蔵品を幅広い年代の方に鑑賞したり、作品の感想等を通じて会話の輪を広げていただく場をつくる一環として、出張形式で地域の高齢者や家族、施設職員に当館の収蔵作品を鑑賞していただく事業を行い、参加者の心身の健康に寄与することを目指します。
内容	高齢者利用施設・集会所等で、当館収蔵の美術作品(画像)をプロジェクターで投影する形式で鑑賞します。 主な対象を高齢者のうち軽度の認知症の方とその家族、アクティブシニア層、施設職員とし、参加者同士の会話がふくらませることを重視し、約1時間で3点の作品をじっくり見ていただく進行とします。
関連事業	
その他	(協力団体) ファシリテーター：一般社団法人 Arts Alive 林 容子氏 参加者募集等協力：株式会社 SOERUTE 看護小規模多機能支え合い



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者】 18人（2月15日 9人、3月5日 9人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻生区役所地域ケア推進課及び地域の福祉施設の協力のもと、地域の実情に合わせた開催エリアの検討や参加者募集を行い、当館初となる出張形式による高齢者向けの事業を実施しました。 ・高齢者との鑑賞事業の知見が豊富なファシリテーターの進行により、参加者それぞれが作品を見て感じたことを発言し、交流が進む時間を過ごしていただくことができました。 ・参加者の多くは被災前の市民ミュージアムを訪れた経験がなかったと話されており、市民ミュージアムについて知っていただく機会を創出できたとともに、当館としても地域に出ていく事業の重要性を再認識しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回お借りした会場（民間のコミュニティスペース）は、階段のみで2階に上がる構造の建物であり、次年度以降も実施する際は、バリアフリー性の高さも重視して開催場所を調整してまいります。 ・参加者の中には、もっと時間が長くてよかったという方もいらっしゃいました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、会場を設定し高齢者に来ていただく形式だったが、今後も開催していく場合は、施設等に住んでいる方のところに出張する回があってもよいと感じる。 ・これまで市民ミュージアムに馴染みがなかった方に、館のコレクションを知ってもらえたのはよかったのではないか。 ・福祉分野との連携がとれた企画なので、効果測定の一環として、鑑賞をした後どのような影響（効果）が出ているかも見ていければ、さらによいと思う。 	



【教育普及④】

事業名	柿めぐる道 ーみんなで伝える！昔ばなしと寺社めぐりー
会 期	令和6年3月9日（土）、3月16日（土）
会 場	3月 9日（土）【座学】白山神社（麻生区白山4丁目） 16日（土）【史跡めぐり】星宿山王禅寺周辺（麻生区王禅寺）
コンセプト	市内の史跡をめぐることを通じて地域の歴史を掘り下げ、地域の文化振興とふるさと川崎への帰属意識を醸成します。 小学生など若い世代への積極的な参加をうながし、ゲスト講師をお願いする方との異世代交流やゲスト講師同士の交流を深めていただく機会としていきます。
内 容	今年度は、当館事務所が麻生区に移転したこともあり、「柿生」の由来となった禅寺丸柿をテーマに、地域の方のお話を聴いたり、ゆかりの史跡を訪ね周辺地域の歴史・文化を感じていただく内容としました。 <講師> 【座学】ふる里を語る柿岡塾、白山神社（氏子） 【史跡めぐり】谷 拓馬（川崎市市民ミュージアム学芸員） <史跡めぐりのコース> 王禅寺【集合・見学】→琴平神社（本殿）→琴平神社（儀式殿）→比川社【解散】（約1.5km） <募集定員> 3月 9日（土） 25人 16日（土） 15人
関連事業	
その他	



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者】 3月9日24人（実績）、3月16日15人（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふる里を語る柿岡塾及び白山神社（氏子）の方にゲスト講師としてお越しいただくことで、市民ミュージアムが麻生区に移転したことを多くの人に知ってもらいつながりを作る機会としました。 ・地域の特性を活かした企画として、禅寺丸柿のキャラクター・かきまるくんが来場しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に多くの申し込みをいただきましたが（両日希望23人、9日のみ希望17人、16日のみ希望26人）、会場施設の広さや公道を歩くときの安全確保の制約があるため、抽選ではずれた方にはお断りせざるを得ませんでした。 ・神社を会場に、座布団を敷いて座学を開催しましたが、高齢の方から椅子席の方がよいとの御意見がありました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込が多い、市民のニーズが高い事業を企画できていることが重要である。 ・市民ミュージアムの事務所移転に合わせ、地元となった柿生エリアをテーマにした点が良い。 ・館主催事業でも地域の方にゲスト講師を依頼し、一体で事業を実施していく姿勢は、博物館法の改正で求められるようになった部分でもあり、今後ますます重要になる。 ・市民ミュージアム以外にも地域を歩くイベントをしている行政や民間団体が多いため、今回、事前に麻生区役所とも時期やテーマの重複がないことを確認したことなので、今後も企画時は地元と情報交換して実施して欲しい。 	



【教育普及⑤】

事業名	社会科教育推進事業
会 期	令和5年6月～令和6年3月
会 場	申込のあった学校
コンセプト	市内の小学4年生を対象に、二ヶ領用水に関する体験学習や実物資料の見学を目的とした来館プログラム「社会科教育推進事業」を長年実施してきましたが、令和元年東日本台風の被害により市民ミュージアムの休館が続いているため、出張授業・資料貸出・教材送付の3種類の事業として実施しております。
内 容	出張授業：当館職員が学校に出向き、校内で授業を実施。 資料貸出：クワ、蛇籠（じゃかご）といった出張授業時に使用している資料の貸出。 ワークブック送付：当館で作成した、二ヶ領用水の歴史等をまとめた冊子を希望校に配布。 (参考) 令和4年度は出張授業45校、資料貸出8校、教材送付63校（複数メニューの重複利用あり）。
関連事業	
その他	



自己評価
<実施状況・成果>
<p>【実施校数】 65校 6,765人（3月8日現在）</p> <p>出張授業45校、資料貸出4校、教材送付49校（複数メニューの重複利用あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校の約7割が、それぞれの学校の希望に応じたメニューを活用しています。
<課題・反省等>
<ul style="list-style-type: none"> ・出張授業形式での実施4年目を迎えましたが、いっそう小学校側のニーズに沿った実施内容とするため教育委員会総合教育センターとも意見交換を行っております。 ・市民ミュージアムが麻生区に移転したことにより、出張授業先の小学校までの移動時間がこれまで以上にかかる場合が増えているため、負担の軽減が課題となっています。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	A
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・このような事業は、恒常的にやっていくことに意義がある。被災前の各校から来館してもらっていた形式と比較し、学芸員が出張する負担は大きいと推察するが、これだけの学校数に対応していることは素晴らしい。 ・新たなミュージアムが開館した後も、出張授業はぜひやって欲しい。 	



【教育普及⑥】

事業名	スクールプログラム
会 期	申込に応じて実施
会 場	申込のあった学校
コンセプト	学校との連携事業として、学芸スタッフが出張し、勾玉作り等の体験や職業紹介等のレクチャー等を通じて、歴史や美術作品、あるいは博物館や美術館そのものに関する知識を得る場や体験する機会を創出します。
内 容	学校等の団体からの申込に応じて、学芸スタッフが出向いてプログラムを実施します。主なメニューは勾玉づくり、ゾードロープ（回転のぞき絵）、職業紹介（学芸員の仕事についてのミニ講演・レクチャー）です。 (参考) 令和4年度は1校で実施（学芸員の仕事についてのミニ講演）。
関連事業	
その他	

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【開催実績】 8件（3月8日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあり令和4年度には1件のみの実施でしたが、令和5年度は勾玉づくり、ゾートロープ、学芸員の出張講演など様々なメニューの依頼がありました。 ・大人の団体からも収蔵品の画像を用いたアートカードの貸出依頼がありました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は教育普及事業を紹介する小冊子を市内の学校等に配布しました。スクールプログラムは、子ども達に当館の活動を体験してもらう機会のひとつとなるため、今後も申込の開拓に努めてまいります。 ・子どもだけでなく成人から生涯学習的なニーズもあるため、プログラムの名称も含め、今後の展開を検討してまいります。 	

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	A
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・素敵な試みであると感じる。 ・学芸員と触れ合った子どもたちの反応や反響も、プログラム実施後の振り返りや事業評価の参考として知りたい部分である。 	

【教育普及⑦】※今後実施予定

事業名	(仮)インクルーシブ出張ワークショップ
会 期	令和6年3月中
会 場	麻生区内
コンセプト	障がいのあるなしに関わらずミュージアムを楽しんでもらう取組の一環として、放課後等デイサービス施設と連携した出張形式のワークショップの実施に向け、調整を進めております。
内 容	スクールプログラムの内容を応用し、アートカードを使ったゲームやゾートロープ等を体験するかたちを検討しております。
関連事業	
その他	

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 【実施中】

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

なお、令和5年度につきましては、美術・文芸部門について12月15日（金）に川崎市市民ミュージアム資料等評価懇談会、12月19日（火）に川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会を開催しました。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（X(Twitter)、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行いました。

また、市民ミュージアムになじみが薄かった方にも、興味を深めていただけるようコミュニケーション誌「IN ACTION」（イン アクション）を定期的に発行することとし、パイロット版となる第0号（令和6年2月発行・15,000部）を川崎市内の公共施設をはじめ、商業施設や市外の美術館・博物館等に配架しました。

SNSフォロワー数（令和6年3月8日現在）

	Twitter	Facebook	Instagram
令和4年度末	5, 433	982	2, 079
令和6年3月8日現在	5, 448	1, 070	2, 117

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

当館の事務所移転に伴うホームページの一部リニューアルをはじめ、随時更新を行いました。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行いました。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして年度ごとに作成している「川崎市市民ミュージアム年報」の令和5年度版を作成しました。

イ 紀要

学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成しました。

5 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行います。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしました。

令和5年度館外貸出実績（2月末現在） 7件

(2) 特別利用

特別利用とは、市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するものである。「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行いました。

令和5年度特別利用実績（2月末現在） 52件 174,000円

6 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）について、オンラインのミュージアムショップでの販売及び展覧会場等での出張販売を行いました。

なお、オンラインショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託しているほか、出張販売については、会場および催事の形態により学芸業務受託者又は当該会場の管理運営事業者に委託し、執行しました。

令和5年度販売実績（2月末現在） 702点 747,816円

令和5年度のオリジナルグッズより
「正チャンの冒険 アクリルフィギュア」
(1,200円・税込)



令和5年度 市民ミュージアム事業費 予算

【支 出】

項 目	予算額
被災収蔵品修復関係経費 (修復委託、外部倉庫等)	370,671千円
学芸業務委託	327,743千円
施設管理関連経費 (新旧施設の維持管理、警備、仮設事務所の建物リース料、事務所移転経費等)	122,732千円
その他事務費等	70,130千円
合 計	891,276千円

<学芸業務委託の内訳>

展覧会・上映会経費	23,134千円
教育普及経費	2,750千円
広報関係経費	8,324千円
グッズ等作成・ショップ経費	660千円
収蔵品レスキュー関係経費	72,854千円
物品管理等経費	27,336千円
人件費その他	192,685千円

合 計	327,743千円
-----	-----------

【収 入】

項 目	予算額
財産収入 (特別利用、自動販売機設置場所の貸付)	214千円
寄付金	1,100千円
諸収入 (かわさき市美術展応募料、上映会入場料、ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等)	1,486千円
合 計	2,800千円

令和6年度 川崎市市民ミュージアム事業計画

川崎市市民ミュージアムは令和6年度も、「IN ACTION」を全体テーマに、市内の他施設やオンラインで市制100周年記念展をはじめとする展覧会、上映会及び教育普及活動を実施するほか、次のとおり諸事業を推進します。

1 展覧会・上映会

次の予定に基づき、展覧会及び上映会を市内の他施設において実施する予定です。

展覧会又は上映会名(仮称)	会期	会場
昔のくらしと道具たち	6月～8月	大山街道ふるさと館
市制100周年記念展 曾谷 朝絵展	7月下旬～8月中旬	アートガーデンかわさき 及び川崎駅周辺
市制100周年記念展 川崎市100年 4つの拠点 をめぐる南武線の旅	10月～11月頃	東海道かわさき宿交流館、 大山街道ふるさと館等
山口幸士展	令和6年度中	多摩区内
映画上映会(2回)	令和6年度中	麻生区とその他地域で 各1回
オンライン展覧会(3本)	6月頃～3月末	オンライン
第58回かわさき市美術展	2月～3月	ミューザ川崎 シンフォニーホール

2 教育普及事業

ファミリー層、高齢者、障害のある方など、様々な方のニーズに沿ったワークショップを展開するほか、毎年実施している史跡巡りや市民ミュージアム講座、展覧会の関連企画としての講座・ワークショップを実施します。

また、小学4年生を対象とする社会科教育推進事業やスクールプログラムを実施します。

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資

料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行います。

また、市民ミュージアムになじみが薄かった方にも、興味を深めていただけるようコミュニケーション誌「IN ACTION」(イン アクション)を年2回発行する予定です。

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムの独自のホームページを管理運営し、随時更新を行います。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行います。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして、「川崎市市民ミュージアム年報」の令和6年度版を作成します。また、学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成します。

5 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行います。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしております。

(2) 特別利用

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、

模造、拓本、撮影、原版使用を行いたいとの申請について、「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行います。

6 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売します。ショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託します。

令和6年度 市民ミュージアム事業費 予算案（市民ミュージアム執行分）

【支 出】

項 目	予算額
市民ミュージアム収蔵品修復事業費 （収蔵品修復委託料等）	247,565千円
市民ミュージアム運営事業費 （学芸業務委託料、収蔵品管理業務委託料等）	490,281千円
市民ミュージアム施設管理経費 （仮設施設の土地借上料、電気料、水道料、旧施設の施設管理委託料等）	121,426千円
市民ミュージアム施設整備事業費 （仮設施設における緊急対応経費）	3,960千円
市民ミュージアム施設事業費 （仮設施設リース料等）	35,061千円
合 計	898,293千円

【収 入】

項 目	予算額
財産収入（特別利用、自動販売機設置場所の貸付）	401千円
寄付金	26,088千円
諸収入（かわさき市美術展応募料、上映会入場料、ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等）	1,475千円
合 計	27,964千円

令和 5 年度川崎市市民ミュージアム事業報告
(第 1 回部会で報告・評価を行った事業)

<目次>

1 展覧会・上映会

- 展覧会① 昔の暮らしと道具たちー衣・食・住の移り変わりー … 2
展覧会② 川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会【中止】 … 4

2 教育普及

- 教育普及① ファミリー向けワークショップ
ミュージアムってナニ？集めて見せよう！並べて話そう！ … 6

1 完了した展覧会・上映会

【展覧会①】

事業名	昔のくらしと道具たちー衣・食・住の移り変わりー
会 期	令和5年6月24日（土）～9月3日（日）
会 場	川崎市大山街道ふるさと館
コンセプト	<p>衣・食・住は人間が生活をしていく基本となるものであり、いずれも今も昔も人々のくらしに無くてはならないものです。そして、衣食住を含む「くらし」の様子は時代とともに変化していきます。</p> <p>特に昭和期は、不景気や戦争など多くの困難を乗り越えて、次第に世の中が豊かになっていく時代です。家事は手作業で行われていたため、多くの時間がかかっていましたが、電化製品が登場し、広く家庭で使われるようになったことで、時間がかからなくなってきました。</p> <p>本展では、衣類・食物・住居の3つのテーマに注目し、昭和期を中心にその前後の時代との変化について紹介します。実際に川崎市内で使用されていた生活道具に接することで、地域の歴史や文化への関心を高めてもらう機会とします。</p> <p>【主なターゲット層】 小学校3・4年生とその家族、高齢者層</p>
展示内容	<p>当館所蔵資料（家電製品、川崎市政ニュース映画等） 川崎市大山街道ふるさと館所蔵資料（ランプ、会席膳、写真資料等）、東芝未来科学館所蔵資料（電気コンロ） その他中原図書館・川崎市公文書館所蔵資料（写真資料） 159点（収蔵品69点・借用品90点）</p>
関連事業	<p>【当館主催】</p> <p>①「昔のおもちゃで遊んでみよう！」（7月15日（土）） 参加36名</p> <p>②「さわれるシネマ～8ミリフィルムカメラで撮影と現像をしてみよう」（8月6日（日）・8月11日（金・祝））参加7組16名</p> <p>【大山街道ふるさと館主催】</p> <p>③夏休みふるさと発見講座「昔の道具を使ってみよう！」（8月5日（土））参加28名</p>
その他	共催：川崎市大山街道ふるさと館

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 2,349人</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる観覧者層は、ターゲット層である10歳未満の子どもたちが全体の約2割、10代も約2割、子供たちの保護者の年代層である30～40代が2割強を占めました。居住地別では会場のある高津区が全体の3分の1を占めたほか、東京都内からの来場者も約1割いました。 当館収蔵資料で、昭和期の世情がわかる川崎市政ニュース映画の上映が好評でした。 関連事業はいずれも募集定員を大きく上回る応募があり、特に「さわれるシネマ」は8ミリフィルムでの撮影から現像まで体験してもらう貴重な取組となりました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の同時期に大山街道ふるさと館で開催した企画展「のぞいてみよう昔の暮らし」(来場者3,062人)と比較し、来場者数が減少しました。今回は会場施設の外構工事が行われていたことや、猛暑の影響等も考えられますが、展示室の面積等に制約がある中で今後も毎年見に来たくなる企画や広報の仕掛けを検討していく必要があります。

<p><外部評価>意見(評価できる点や課題など)</p> <p style="text-align: center;">[A:十分に達成 B:概ね達成 C:達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> 来場者の感想を把握するとともに、前年度の実績を踏まえた目標設定と結果の比較・評価のためにも、来場者アンケートの取り方を工夫したほうがよい。 	



【展覧会②】

事業名	川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会
会 期	令和5年9月9日(土) ※当日雨天のため中止
会 場	等々力緑地 催し物広場
コンセプト	<p>被災収蔵品修復の成果として、処置が完了した作品を市民に見ていただくとともに、映画鑑賞体験を楽しんでいただく機会として、上映会を開催します。動画配信サービスが普及し、映画上映の形式や鑑賞手段が変化してきている現代において、スクリーンで不特定多数と映画を一緒に見るという鑑賞体験は薄れつつある中、野外上映の形式をとることで、より多くの観客が気軽にスクリーンで映画鑑賞を体験できる機会を創出することを目指します。</p> <p>上映作品については、被災収蔵品レスキューの過程でデジタル化を行った「川崎市政ニュース映画」と、中原区内の卓球場や多摩区のみうらランドでもロケが行われた青春卓球映画『ピンポン』を選定しました。</p>
内 容	<p>【上映作品】</p> <p>(1) 題名：川崎市政ニュース映画（2作品、合計約4分30秒） 制作：神奈川ニュース映画協会</p> <p>(2) 題名：ピンポン（2002年／114分／アスミック・エース） 原作：松本大洋「ピンポン」、監督：曾利文彦 脚本：宮藤官九郎 出演：窪塚洋介、ARATA、サム・リー、中村獅童、竹中直人、夏木マリ ほか</p> <p>【入場料】無料</p>
関連事業	
その他	<p>来場者へのノベルティとして、上映作品のストーリー解説やロケ地マップを盛り込んだリーフレットを作成しました。</p> <p>技術協力：株式会社東真トリニティ、有限会社鈴木映画、有限会社ヤマガタ</p> <p>広報協力：「映像のまち・かわさき」推進フォーラム</p>

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風13号から変わった熱帯低気圧の影響による降雨が続き、グラウンド状態不良のため会場の設営ができない状況となったことから、当日午前9時に中止を決定し、午前10時に市民ミュージアムのホームページ及びSNSで開催中止を発表しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外上映会において天候のリスクは避けられないものではありますが、日没時間と気候の関係で開催に適した時期に限られることに加え、外部から派遣いただく映写技術者のスケジュールが繁忙であるため、予備日を設定できませんでした。今後も出張形式の上映会を継続していくうえで、開催手法やリスクマネジメントが検討課題です。 ・開催予定の時間帯には雨がやんでいたことから、中止を知らずに会場に足を運ばれた方がいました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	C
<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右される性質の事業なので、リスクマネジメントや中止の場合にお知らせする方法を今後さらに検討していただきたい。 ・来場者配布用のリーフレットも非常に魅力的なものと感じるだけに、中止になったのは非常に残念である。 	



2 教育普及事業

【教育普及①】

事業名	ファミリー向けワークショップ ミュージアムってナニ？集めて見せよう！並べて話そう！
会期	令和5年10月29日（日）
会場	川崎市生活文化会館てくのかわさき 工作実習室
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムが被災してから4年が経過し、小学校へ出張授業に出向いた際に当館への来館経験を尋ねても、手を上げる児童は年々少なくなっている実態があります。</p> <p>そのため、小学生およびその保護者を対象に、ミュージアムとはどんな場所か、どんな役割を持つのか体験を通して学んだり、当館は現在どのような状況なのか紹介するワークショップを開催します。</p> <p>活動を通じて、当館に関心を持つきっかけ作りに加え、自分や家族、他の参加者の大切な「もの」に意識を向け、ものを大切にす る・保存することについて考え、参加者同士で共有します。</p>
内容	<p>前半 ミュージアムってどんなところ？自分の大切なものを展示してみよう</p> <p>①参加者に自分の大切なものを家から持ってきてもらう（1個）</p> <p>②1辺40cmの立方体の箱に入れ、自分の大切なものを展示する。 タイトルなどを記載したキャプションも作る</p> <p>③それぞれの箱を並べ、展示会場（のような空間）を作る</p> <p>④参加者に心惹かれた展示や自分の大切なものにまつわるエピソードを話してもらう</p> <p>後半 川崎市市民ミュージアムって今どうなっているの？ミュージアムの被災と修復の紹介</p> <p>⑤市民ミュージアムの被災や収蔵品の状況を紹介する</p> <p>⑥修復に使っている道具を紹介し、実際に触ったり体験してもらう</p> <p>⑦ミュージアムの状況を知って、どんなことを思うか、これからどんなことができたらいいかを自由に話し合う</p> <p>⑧まとめ</p> <p>【募集定員】 8組 【受講料】 無料</p>
関連事業	
その他	協力団体（ファシリテーター） 「山と水の図工室」水野明香氏、山内佑輔氏

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者数】 7組 21名（親子合わせた人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員8組で募集したところ、23組の応募があったため抽選を行いました。 （1組当日キャンセルとなり、7組で実施） ・ミュージアムの基本的な機能である「保管」「展示」といった要素を参加者自身の宝物を用いて体験することで、博物館や美術館を身近に感じる場にしたと考えます。 ・参加者アンケートでは、「家族でよく行っていた市民ミュージアムの活動に参加できてよかった」「大変楽しかったです。恥ずかしながら、美術館が被災したことを存じ上げませんでした。それを知ったことも大きな収穫です。」といった御感想のほか、「親は親同士、子どもは子ども同士でやるのもありではと思いました。」との今後のヒントとなる御提案をいただくことができました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと実際にやってみると2時間で行うには内容が多く、もう少し要素を削ぎ落して、ひとつの作業に時間をかけてもよかったと感じております。 ・これからもミュージアムの現状を伝えたり修復をテーマにしたワークショップを開催していく必要があるため、今回の反省点もふまえて企画していきます。また、全体の内容をもう少し練り、スクールプログラムとして実施できるようにするなどブラッシュアップさせることも視野に入れたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・被災収蔵品の修復中である市民ミュージアムだからこそその体験や学びがあり、新たなミュージアムにもつながるワークショップだと感じた。 ・ミュージアムを知ろうということと現状の紹介で、川崎市市民ミュージアムがすべきことが詰まっている有意義なプログラムである。 	



川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号）

最終改正:平成28年3月31日規則第13号

改正内容:平成28年3月31日規則第13号 [平成28年4月1日]

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市文化芸術振興条例（平成17年川崎市条例第8号）第9条第6項の規定に基づき、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員）

第2条 市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

（会長及び副会長）

第3条 振興会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、振興会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 振興会議は会長が招集し、会長はその会議の議長となる。

2 振興会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 振興会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（関係者の出席）

第5条 振興会議は、その調査審議に必要ながあると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

（部会）

第6条 振興会議は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長1人を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会の審議の経過及び結果を振興会議に報告するものとする。

5 部会の会議については、前2条の規定を準用する。

（庶務）

第7条 振興会議の庶務は、市民文化局において処理する。

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、議事の手続その他振興会議の運営に関し必要な事項は、会長が振興会議に諮って定める。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日規則第16号抄）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第13号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号。以下「規則」という。）第6条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成17年3月24日条例第8号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること
- (2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

(組織等)

第3条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。

2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。

3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年10月1日から施行する。